



日本一の透明度をもつ摩周湖や、硫黄の噴煙が激しく立ち昇るアトサヌプリ（硫黄山）。歴史ある川湯温泉街をはじめ、屈斜路湖周辺のいたるところで湧き出す良質な温泉。日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖の周りの森や生活道を歩く。そして、古くからここで暮らしてきたアイヌの人々のコタン（集落）。

女湯別空港

新千歳空港	から 45 分
羽田空港	から 1 時間 45 分
中部国際空港	から 1 時間 50 分

中継津空港

新千歳空港	から 50 分
羽田空港	から 1 時間 40 分

釧路

釧路空港

新千歳空港	から 45 分
羽田空港	から 1 時間 35 分
関西国際空港	から 2 時間 10 分

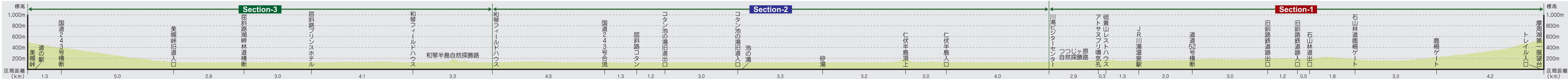
帯広空港

羽田空港	から 1 時間 35 分
------	--------------

1. トレイルのルート歩く
2. 動植物を大切に
3. 他人に配慮する
4. ゴミは全て持ち帰る
5. トイレは所定の場所を利用する
6. 下調べをして、計画通りに歩く
7. ヒグマの情報を収集して、十分に備える
8. 野営や焚火は指定された場所で行う

タクシー：摩周ハイヤー 015-482-3939
バス：阿寒バス 015-486-7716

NPO 法人てしかがトレイルクラブ
mashu.kussharo.trail@gmail.com



現在の国道ができる以前に使われていた旧道。かつて網走や美幌のアイヌの人々が屈斜路方面の温泉へ通った道はこの付近だったのだから？

古の風景を想像しながら、屈斜路湖を一望する美幌峠まで一気に登る。

かつて火山島だった和琴半島は今なお地熱が高く、その先端にはオヤコツ地獄という噴気孔が煙を上げています。半島を一周する散策路では、春から秋にかけて小さな花々が咲き、目を楽しませてくれる。



かつて火山島だった和琴半島は今
なお地熱が高く、その先端にはオヤ
コツ地獄という噴気孔が煙を上げ
ている。半島を一周する散策路で
は、春から秋にかけて小さな花々が
咲き、目を楽しませてくれる。



屈斜路湖に突き出た和琴半島
周した後に農業地帯を抜けて
路カワデラを一望する標高520mの
の美幌峠まで一気に登るコース。この
域の特産であるジャガイモ、オクラ、
ト、大豆の収穫時期には広大な
トラクターが行き交い、北海道
い風景が広がる。後半はカツラ
ズナなどの巨木が美しい豊
森林地帯となり、野生動物に遭
るの可能性も。人間の営みと自然
を感じる19.5kmの道のり。

屈斜路アイヌの歴史と文化を知りたい人はまずはアイヌ民族資料館(4月20日～11月30日開館)へ。資料館前の芝生広場にはアイヌの祭壇などの野外展示や、屈斜路湖に面した絶景の露天風呂もある。



かつてアイヌの人々は、屈斜路コタンからこの旧道を歩いて池の湯へ通っていた。入浴のためだけでなく、布を織るための糸の原料となる木の皮を浸して柔らかくするために温泉を利用していた。



ハリギリ、オヒョウ、ハウノキ、カツラなどの広葉樹と、北海道を代表する針葉樹トドマツの森は、多くの野鳥や野生動物も憩う場所。運が良ければクマゲラのドラミングが聞こえるかもしれない。



屈斜路カルデラに残る原生的な森の中の新緑が、かつてアイヌの人々が使っていた生活道、屈斜路湖畔に湧き出るユニークな足湯や野湯を巡り、カルデラの自然とアイヌ民族の文化に触れるコース。湖畔の砂を掘ると温泉が湧き出す砂湯は、夏はキャンプ、晩秋から春にかけてはシベリアから渡ってきたオオハクチョウで賑わう。屈斜路湖を眺めながら、その大きな恵みを感じる22.5kmの道のり。

アトサプリを源とする強酸性の良質な温泉は、一日の疲れを癒してくれること間違いなし。日帰り入浴も可能な宿泊施設のほか、足湯、地場産食材を楽しめる食事処や国立公園のビジタセンターがある。



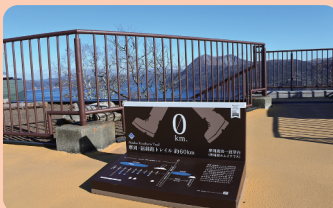
1,500以上の噴気孔から煙をあげる活火山。山肌を覆う黄色い硫黄の結晶に圧倒されるだろう。酸性の土壌が広がる山麓では、通常は高山帯に生育するハイマツ、ガンコウラン、イソツツジが見られる。



釧路地方の発展の礎ともなったアトサヌプリの硫黄採掘。1887年から10年間、硫黄を運ぶSLが走っていた跡地の一部を散策路として整備。線路はもうないが、当時を偲ばせる盛り土が残っている。



MKTのスタート地点は、人が立ち入ることができない神秘的な摩周湖を眼下に望む展望台。湖面の色は「摩周ブルー」と呼ばれ、刻々と変化する。湖を見た後はフォトスポットで記念撮影をしていざ出発。



標高546mの摩周湖第一展望台から
美瑠(ひろ)和摩周カルデラの中央
輪山を一気に下り、かつてアトサ
プ(硫黄山)から硫黄を運んだ鉄
道跡地の森を抜け、活火山の雄姿を
眺めながら歩くコース。JR川湯温泉
駅前から徒歩で人気のカフェや
雑貨店に立ち寄ることも。大迫力の
アトサプ噴気孔を見た後は、川
湯温泉街へと続くつじヶ原自然
探勝路を歩く。地球の息吹を感じる
20.5kmの道くり。